

Event

第16回

HCSソリューションフェア2019

開催決定！

テーマは、「全力パートナー～共創によるビジネス変革への挑戦～」昨年度までと異なり、今年は体験・特設コーナーを設けます。AIやVRなど、先端技術をぜひ会場で体験してください。

詳細が決まり次第、弊社HP等でご案内いたします。もうしばらくお待ちください。

日時

11月14日(木)
9:15~16:30

場所

とやま自遊館（展示会場）
サンフォルテ（講演会場）

お申し込み

9月中旬より特設サイトで受け付け開始予定です。

プリンタ消耗品
事務用品の購入は

Net23

が便利です

<https://www.coworco.com/hcs>

1 プリンタ消耗品
事務用品を
Webから簡単購入！

2 34,000点にのぼる
豊富な品揃え！

3 14時までの
ご注文で翌日お届け！

ハリタ金属株式会社 様

(所在地：富山県高岡市)

Case Study

AIを使った紙書類のデジタル化検証をご支援～お客様と新たな価値の共創～



▲ リサイクルプラント

チするかを検証できないか？」と、弊社にご相談いただきました。

近年このようなご相談が増えており、業務への適合性や実現可能性等を手軽に検証できる「AI-OCR 検証支援」を始めました。本号では、立ち上げに携わった弊社社員の西川副部長および運用担当の吉崎上席マネージャーに、支援概要や事例などについて話を聞きました。

OCR とはどんな機能ですか？

吉崎：「OCR（光学的文字認識）」とは、手書きや印刷された文字を画像として読み取り、コンピュータで利用できる文字コードに変換する技術です。

「AI-OCR」は、AI の誤読情報学習機能を利用して OCR の読み取り精度を上げるものです。

AI に学習させるまで時間がかかりますか？

吉崎：弊社の「AI-OCR 検証支援」はクラウド環境を利用することで、多くのお客様の学習パターンにより、検証利用開始時から一定の読み取り精度を実現します。

それでは、支援概要を教えてください。

吉崎：帳票の画像データ (PDF) を弊社の AI-OCR 環境で読み取り、結果をデータ (CSV) としてご提供いたします。この一連の作業を実施していく中で、業務への適合性や実現可能性等をお客様と共に検証していきます。

支援利用のメリットはありますか？

西川：一番は、手軽に低コストで利用できることです。課題解決に対して「AI-OCR が有効な手段なのか」を見極めるために、どうしても事前の検証が必要となります。

また、検証を進める中で AI-OCR が実務に合わないかもしれません。その場合、弊社から別の解決策をご提案させていただきます。

1960 年創業のハリタ金属株式会社様は、廃棄物処理やリサイクル事業を担っておられ、太陽光パネルの資源化技術等、独自のリサイクル技術を開発し資源循環型社会に貢献されています。

同社では人手不足・働き方改革の観点から、ICT を使った手書き書類のデータ入力簡素化 (AI-OCR の導入) を検討されました。しかし、自社で環境構築・評価するには技術・コスト面で困難なものが、「もっと手軽に、実務にマッ

取り組み事例について教えてください。

吉崎：ハリタ金属様は、紙管理している大量の支払請求書やマニフェスト伝票のデータ化を目的に AI-OCR 検証されています。

まずは、印刷されている請求書の「品名」「数量」「金額」をデータ化し、読み取り精度と費用対効果について検証されました。今後は、手書きのマニフェスト伝票の読み取り精度を検証する予定です。将来的には、経理システムや基幹システムと連携させることをお考えです。

今後の展望を教えてください。

西川：お客様が事業所にて紙帳票をスキャンするだけで、AI-OCR を使って必要な情報をデータ化する運用を検討しています。

また読み取りにとどまらず、出力したデータの 2 次加工や業務システムへの連携など、お客様と付加価値の共創を進めていきたいと考えています。

We create.

私たちは、つくる。

人間が掘り出したもの、
生み出したもの、
そして、社会を巡り、運ってくるものたちを、
もう一度、「素材」にする。
それが、私たちハリタ金属の仕事です。



HARITA METALS

01

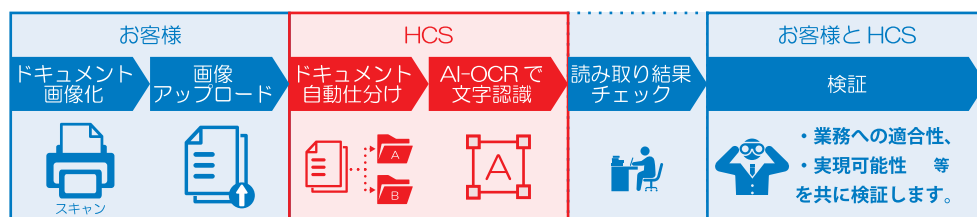
世界から遅れをとる
日本

スイスの名門ビジネススクール IMD が調査した「世界競争力ランキング2019」では、日本の実力は世界63か国中30位とのことでした。その要因の一つとして、デジタル化に対する日本の対応スピードが遅れていることです。これは日本の「生産性と効率性」に悪影響を与えているとされています。

漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットの多数の文字を扱う日本において、手書き書類のデジタル化は非常に困難とされてきました。しかし近年、「AI-OCR」の登場により、デジタル化の促進が期待されています。いきなり壮大なシステムを導入するのではなく、現場の生産性向上のため、小さな改革を繰り返すことが重要です。

弊社は、皆様の「デジタル化」をご支援いたします。スモールスタートで効果を体験し、業務に適した解決策を皆様と共に考えてまいります。

弊社の「AI-OCR 検証支援」の流れ



02

17歳の挑戦！
企業体験ツアー

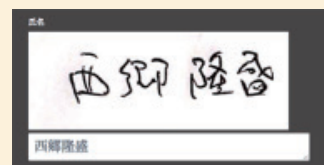
先月、富山県教育委員会主催「社会にはばたく17歳の挑戦！～富山の企業魅力体験バスツアー～」として、富山県立大門高等学校の生徒が来社されました。施設見学や若手社員との懇談を通して将来の進む

方向について理解を深めていただけたと思います。参加した社員にとっても若い熱意を感じ、新たな刺激をいただく機会となりました。

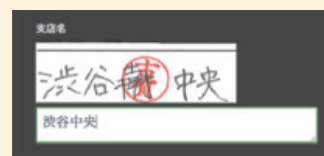
「AI-OCR」の
読み取り精度は？

こんな文字でも読み取れます！

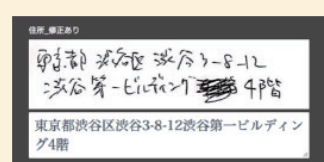
1. くせ字



2. 訂正印



3. 手書き訂正、複数行



「AI-OCR 検証支援」にて、様々なパターンをお試しいただけます。

HCS のよここ



たによしき
谷 佳樹 さん
(2018年度入社)

営業本部
富山ソリューション営業部

Q. 現在の業務内容は？

製造業や福祉サービス業などの営業担当をしています。入社前は印刷機器の運用・管理を行っており、営業の仕事に戸惑うこともありましたが、現場経験を活かしつつ、お客様に寄り添ったご提案を心がけています。

Q. 休日の過ごし方は？

父の影響で8歳の頃からギターを始め、今年で20年。今では友人とバンドを組み、作曲も行っています。来春にはCDを出す予定です。毎日ギターを弾きたくてうずうずしています。いつか、プロに交じってフェスで演奏するのが夢です。



▲ライブイベントにて

編集後記



『HCSソリューションフェア』が近づいている毎年9月ごろ、筆者の所属するICTイノベーション推進室内がだんだん慌ただしくなってきます。今回の見どころの一つは、『ホンマでっか!?TV』に出演経験のある門倉氏による「誰かに話したくなるような経済」に関する講演と「ITによる企業間連携」を成功させた、株式会社今野製作所 代表取締役 今野氏の講演です。どちらも筆者はとても気に入っています。当日は、さらに充実した展示ブースにもぜひ足を運んでいただきたいです。(まつお)

お問い合わせ



全カパートナー

北陸コンピュータ・サービス株式会社

営業本部 ICTイノベーション推進室

〒939-2708 富山市婦中町島本郷 47-4
TEL (076)495-9824 FAX (076)495-9843

www.hcs.co.jp